

平成30年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
36206	ファッション造形 Fashion and Design	山本 豊	専門	2	選択	1・2年 後期
科目の概要						
ファッション関係で販売員として活躍するためには、顧客が求めるニーズに適切なアドバイスを提供できることが欠かせないスキルである。スキルを身につけるには、人体の構造的特徴や販売する衣服がどのように作られているのかなどの衣服の基本的知識を修得することが不可欠であり、その知識がさまざまな体型の顧客に対し適切な商品を提供し、アドバイスができる優秀な人材として活躍できる要素となる。授業では普遍的な人体の特徴と衣服の関係を把握した上で、ファッションを彩るさまざまなデザインの中から、その基本となるスカートを自身が計画した制作計画表に添って制作する。また、授業での気付きを記入する。スカート制作の過程から技術、構造などの専門知識を学び、さらにアパレル販売員として活躍できる実践能力を修得する。						
学修内容			到達目標			
①人体と衣服の関係について、美しく装うことの基本となる知識について学び、実践能力を習得することを目的とする。			①美しく装うことの基本的知識を修得する。 ・人体の構造的特徴が修得できている。 ・美しく装うための着装方法を習得できている。 ・生地の種類とデザインとの整合性を修得できている。 ・生地の性質にあった扱い方ができる。			
②衣服制作に必要な基本となる縫製知識と技術を学び、衣服制作を自らできるようになることを目的とする。			②衣服制作について基本的知識と技術を修得する。 ・洋裁道具を知り、目的あった使い方ができる。 ・正しい採寸ができる。 ・正確に型紙制作ができる。 ・生地の性質にあった裁断方法ができる。 ・目的に合った縫製ができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	授業時間内だけでなく、授業外時間や自宅等で自主的に制作を進め、より良い作品、多数の作品を制作している。				
	働きかけ力					
	実行力	本科目の到達目標、評価方法、到達目標の基準を確認し、自身の制作目標を設定する。設定した目標を意識し、達成できる。				
考え抜く力	課題発見力	人体的構造や生地の特徴を考えてデザインし、そのデザインを作品にするために必要な裁断、縫製技術を活用できる。				
	計画力	決められた『計画表』を作成し、締切に遅れないよう進捗状況に合わせて随時計画を見直している。				
	創造力	知識を活用し、デザインや縫製の中に独自のアイデアが見られる。				
チームで働く力	発信力	教員から技術指導を受ける際、制作状況、自己の考え、疑問点をわかりやすく教員に説明できる				
	傾聴力	教員から指導を受ける際、聴く姿勢(うなずき、あいづち)が見られる。重要な点はメモをとり、疑問や不明な点は質問して、指導内容を正しく理解する行動ができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	時間、ルールを厳守し、自己の都合により解釈を変えない。道具について、決められた扱いを守る。授業開始時には必要道具を揃え、受講できる態勢ができていないこと。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
テキスト: MODE et MODE ・ELLE ・high fashion ・VOGUE 参考文献:なし						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連:アパレルパターンメイキング、やさしいソーイング、ドレーピング、ファッションコンテスト 資格との関連:なし						
学修上の助言			受講生とのルール			
・制作計画予定に到達できなかった場合は、必ず次回授業までに到達しておく。			・実習授業であるため、欠席しないこと。 ・ファッションコンテスト、総合ゼミナールの履修を予定している学生は、1年次に履修するのが望ましい。 ・作品制作費用(生地代、他材料費等が必要となる。約 3,000 円			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト	10	①	✓	人体と衣服の関係についての知識が修得できているか確認のため、小テストを実施する。 (小テスト満点を目標とし、あきらめしないで目標に向かって粘り強く行動する。)
		②		
レポート				
成果発表 (口頭・実技)				
作品	40	①		・衣服制作についての基本的知識と技術が計画的に修得できていること。 (正しい採寸、正確な型紙制作、生地の性質にあった裁断方法、目的にあった縫製)
		②	✓	
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	【主体性】自ら知識を深める姿勢・行動が見られる。 【実行力】努力すれば達成できる高い目標を設定し、それを達成している。 【課題発見力】知識を活用して論理的に考えている。 【計画力】作業項目を挙げて計画し、状況に応じて計画を見直している。 【創造力】既存の知識を元に試行錯誤し、独自の考えを作っている。 【発信力】相手がわかりやすく、正確に理解できるよう、工夫して伝えている。 【傾聴力】話を聞く姿勢が見られ、内容を正しく理解できるよう行動している。 【規律性】決められたルールは全て厳守し行動している
		②	✓	
その他	40	①		・目標を立て、制作計画表に制作計画を立案し提出すること。 ・制作過程を記録し、進捗状況に応じて計画表を修正して提出すること。 ・目標枚数を制作すること。
		②	✓	
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベル S(秀) 及び A(優) の基準	到達レベル B(良) 及び C(可) の基準
<p>到達レベル S の基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2作目が完成している。 <p>到達レベル A の基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題のスカートを指導通り正しく仕上げている。 ・毎回の学習予定より早く制作でき、学習した技術を使い美しく完成している。 ・制作計画表に授業内容のまとめだけでなく、自身の気付きが書かれている。 ・積極的に適切な質問ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題のスカートが完成している。 ・毎回の学習予定が時間内で終了している。 ・制作計画表に授業内容がまとめられている。 ・気付きが記入されている。

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	ガイダンス ・制作の必要性とその意義について学修する。 ・制作に必要な用具の名称、扱い方について学修する。 ・制作計画と計画表の書き方について学修する。	講義	・授業の目的と意義を理解し、実習に必要な物を準備できる。 ・制作計画と計画表に制作予定が記入できる。	(予習)実習に必要な用具の準備をする。スカート制作に必要な材料を購入する。(生地、裏地、ミシン糸、ファスナーベルト芯)	90	計画力 実行力
2週 /	・身体の骨格の構造について学修する。 ・身体の採寸をする。 ・衣服の構造について学習する。	講義・実習 提出した計画表に記述で返答しフィードバックする。	・各自の身体を採寸し、身体の特徴を理解する。	(予習)自身の体型を観察する。衣服の構造を調べる。	90	計画力 実行力 傾聴力
3週 /	ストレートスカートの制作方法を学修する。 ・自分の寸法でスカートの型紙を制作する。 ・地の目の合わせ方を学修する。 ・縮地の方法を学修する。	実習 提出した計画表に記述で返答しフィードバックする。	・説明通り採寸ができ、採寸帳に記入する。 ・自身の製図が描ける。 ・地の目を合わせている。 ・縮地ができる。	(予習)生地の縮地をしてくる。 (復習)制作記録をまとめる。	90	計画力 実行力 傾聴力 発信力
4週 ～ 14週	・アパレル業界が使用している方法で型紙をカットする。 ・スカート生地の裁断をする。	実習 提出した計画表に記述で返答しフィードバックする。	・型紙がカットできる。 ・生地が裁断できる。 ・手順、方法を考え確実に進めることができる。	(予習)指導通り生地の地の目を揃えてくる。 (復習)制作記録をまとめる。	70	計画力 実行力 傾聴力 発信力
	・裏地の裁断をする。 ・ベルトの生地の裁断をする。	実習 提出した計画表に記述で返答しフィードバックする。	・裏地とベルト部分になる生地が裁断できる。 ・手順、方法を考え確実に進めることができる。	(予習)実物のスカートのを観察してくる。 (復習)制作記録をまとめる。遅れている予定を計画通り仕上げてくる。	70	計画力 実行力 傾聴力 発信力
	・表地、裏地に印つけをする。 ・表地のファスナーを付ける縫い代部分に伸び止め接着芯をアイロンで付ける。 ・表地、裏地の脇の縫い代にロックミシンをかける。 ・表地、裏地のダーツをミシンで縫う。 ・表地、裏地のダーツにアイロンをかける。	実習 提出した計画表に記述で返答しフィードバックする。	・縫製する部分に印を付けている。 ・ファスナーを付ける部分に伸び止め接着芯を付けている。 ・前身頃、後身頃の脇にロックミシンをかけている。 ・ダーツが縫えている。 ・ダーツにアイロンをかけた縫い代をたおしている。 ・手順、方法を考え確実に進めることができる。	(予習)実物のスカートの裏地の縫い方、ロックミシンがかけてある部分を観察してくる。 (復習)制作記録をまとめる。遅れている予定を計画通りに仕上げてくる。	70	計画力 実行力 傾聴力 発信力
	・表地、裏地の前身頃と後身頃をミシンで縫い合わせる。 ・表地、裏地の縫い代をアイロンで割る。 ・表地の裾にロックミシンをかける。 ・裏地の裾をアイロンで三つ折りにしミシンをかける。	実習 提出した計画表に記述で返答しフィードバックする。	・前身頃、後身頃を縫い合わせている。 ・縫い代をアイロンで割っている。 ・表地の裾にロックミシンをかける。 ・裏地の裾を3つ折りにしてミシンをかける。 ・手順、方法を考え確実に進めることができる。	(予習)実物のスカートのロックがかけてある部分を観察してくる。 (復習)制作記録をまとめる。遅れている予定を計画通りに仕上げてくる。	70	計画力 実行力 傾聴力 発信力
	・ファスナーを手縫いでつける。 ・裏地と表地のウエストの位置にそれぞれしつけ糸でいせ込みをいれる。	実習 提出した計画表に記述で返答しフィードバックする。	・ファスナーが付いている。 ・いせ込みが入っている。 ・手順、方法を考え確実に進めることができる。	(予習)実物のスカートのファスナーの付き方を観察してくる。 (復習)制作記録をまとめる。遅れている予定を計画通りに仕上げてくる。	70	計画力 実行力 傾聴力 発信力

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
	<ul style="list-style-type: none"> 裏地をファスナーの部分に手縫いでまつり付ける。 裏地と表地をウエストの位置で合わせ、しつけ糸で縫い合わせる。 	<p>実習 提出した計画表に記述で返答しフィードバックする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 裏地をファスナーに縫い付けられている。 裏地と表地を縫い合わせている。 手順、方法を考え確実に進めることができる。 	<p>(予習)実物のスカートのファスナーの付き方を観察してくる。 (復習)制作記録をまとめる。遅れている予定を計画通りに仕上げてくる。</p>	70	計画力 実行力 傾聴力 発信力
	<ul style="list-style-type: none"> ベルト芯をベルト生地にミシンで縫いつける。 ベルト生地とスカートをしつけ糸で縫い合わせる。 ベルト生地とスカートをミシンで縫い合わせる。 	<p>実習 提出した計画表に記述で返答しフィードバックする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ベルトをベルト生地に縫いつけている。 ベルト生地とスカートがしつけ糸で縫われている。 ベルト生地とスカートをミシンで縫い合わせている。 手順、方法を考え確実に進めることができる。 	<p>(予習)実物のスカートのファスナーの付き方を観察してくる。 (復習)制作記録をまとめる。遅れている予定を計画通りに仕上げてくる。</p>	70	計画力 実行力 傾聴力 発信力
	<ul style="list-style-type: none"> カギフォックとスナップボタンを付ける。 裾をまつる。 	<p>実習 提出した計画表に記述で返答しフィードバックする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> カギフォック、スナップボタンが付いている。 裾が奥千鳥縫いでまつられている。 指示通り完成している。 手順、方法を考え確実に進めることができる。 	<p>(予習)実物のスカートのファスナーの付き方を観察してくる。 (復習)制作記録をまとめる。遅れている予定を計画通りに仕上げてくる。</p>	70	計画力 実行力 傾聴力 発信力
15週	<ul style="list-style-type: none"> 仕上げアイロンをかけ着装し、教員の評価を受ける。 	<p>実習 提出した計画表に記述で返答しフィードバックする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 完成しており、着装して評価を得ることができる。 	<p>(復習)制作記録をまとめる。</p>	各90	計画力 実行力 傾聴力 発信力 課題発見力 主体性

能力名:主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力